



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

2月1日号

<http://shiunjies.shibata.ed.jp>

「あなたの命をわたしの命にさせて いただきます。」

校長 土田 志津子

仇討ち・・・??? そんな物騒な話ではありません。表題は、永六輔さんの書いた絵本「いのち」の中の一文です。命の繋がりを、人と人との繋がりだけでなく、植物とヒトを含む動物の繋がりからも見た不思議さ・偉大さについて書かれています。植物と動物の生きもの同士、生きるためには「食べる」行為が欠かせません。食物連鎖のことですが、それは、とりもなおさず「命の繋がり」だということです。

つまり、「食べる」という行為には、命がかかっているということです。食べ物を粗末にできないということが分かります。

1月24日に、当校で第32回学校給食記念週間「食育授業・給食試食会」の研究会が行われました。2年2組担任鎌倉教諭と齋藤栄養教諭が、子どもたちに「食べ物を大切にしよう」というテーマで授業を行いました。当校の給食の食べ残しの実態が比較的多いことから、このようなテーマになりました。子どもたちは、授業の中で、下記の生産者や調理員さんの話を聞いたり、家の人から届いた手紙を読んだりして、食べ物にかかわる人々の努力や願いに気づき、今後の自分の目標を決めました。

- 「・・・子どもたちが食べる給食に、安心安全な野菜を提供したい。地場産のものを、という話が、十何年前にあり、協力生産者の一人になりました。低農薬に徹するため、蝶が卵を産む時期は、畑で虫取り網を使って捕まえています。何十匹も捕まえるときもあります・・・」
「・・・子どもたちには、安心しておいしいなあと思って食べてもらいたいと思って作っています。嫌いな物でも頑張って食べてほしいです・・・」(生産者の大沼さんの話)
- 「・・・ほうれん草等の葉物は、葉の表裏を、一枚一枚虫や卵などがついていないか調べます。手間がかかりますが、子どもたちには、安心安全に食べてもらいたいと思って作業をしています。帽子を3枚も被ったり手も10回以上洗ったりします・・・」(調理員の小形さんの話)
- 「・・・好き嫌いしないで食べてください。」(保護者の手紙)

【子どもたちが決めた行動目標の一部】

- 「手間をかけて作ってくれる人がいるから、残さないで食べる。」
- 「大沼さんが育てている野菜を好き嫌いしないで頑張って食べる。」
- 「命をもらっているからちゃんと感謝したい。」
- 「野菜の働きが分かったからあんまり残さない。」
- 「好き嫌いしないで食べる。」 等々。



新発田市の教育で推進している「食とみどりの新発田っ子プラン」の中に、「『食』の大切さや『食』は命そのものであることに気付いてほしい。」とあります。

子どもたちが、給食を食べる時、家でごはんを食べるとき、命そのものをいただいていること、多くの人々の願いや思いがぎっしり込められていることを思い浮かべて、おいしく楽しくいただけるようにしたいです。

六送会に向けて

高橋 大地

2月28日には6年生を送る会があります。5年生が実行委員となり、計画的に進めているところです。これまでお世話になってきた6年生に、どうすれば感謝の気持ちを伝えられるかなどを考えたり、会に向けて練習をしたりしている学年もあります。当日の発表が楽しみです。

また、2月6日から28日までを6年生ありがとう月間としています。その期間に、6年生と一緒に給食を食べる招待給食を行ったり、お昼の放送で6年生との思い出や感謝の気持ちを伝えたり、委員会での6年生のがんばりを伝えたりする予定です。



6年生の中学校への準備期間であるとともに、これらの準備・活動を通して1～5年生の子どもたちもまた一歩成長してくれることを望んでいます。

六送会：2月28日（金） 14：10～15：40（体育館）

※当日は参観日となっております。ご都合を付けておいでください。

なお、体育館は冷えているため、お越しになる際は、あたたかい服装をお願いします。



六送会プログラム

- | | |
|--------------|-----------|
| ① 6年生入場 | ⑧ プレゼント贈呈 |
| ② 開会の言葉 | ⑨ 6年生発表 |
| ③ 松原児童会の歌 | ⑩ くす玉割り |
| ④ 1・2年生発表 | ⑪ 校長先生のお話 |
| ⑤ 3年生発表 | ⑫ 閉会の言葉 |
| ⑥ 全校ゲーム（4年生） | ⑬ 6年生退場 |
| ⑦ 24代目干拓太鼓演奏 | |

伝統を引き継ぐ

昨年の11月より、6年生からの干拓太鼓の引き継ぎが行われています。これまでも子どもから子どもへと、師匠と弟子の関係で受け継がれてきました。また、地域の方からもご協力をいただきながら、この伝統を守っています。

六送会では、4、5年生による干拓太鼓、24代目としてのお披露目もあります。

どんな演奏になるのか、今から楽しみです。





草取り婆さん

中島 三重子

今は冬なので、外仕事は何もしませんが、あと2か月もすれば、私は“こぶとり爺さん”ならぬ“草取り婆さん”に変身します。

農村地帯にある我が家の庭は決して狭くはなく、生前父が丹精込めて手入れしていた樹木や苔の周りは、今や雑草の宝庫なのです。取っても取っても無くなることはなく、私の病的とも言える除草は延々と晩秋まで続くのです。

農作業用の、つば広で後頭部に日除け用の布が垂れ下がっている帽子を被り、綿シャツの上から腕カバーをし、背抜き指先強化仕様の手袋をはめれば、服装の準備は完了です。

次は道具の準備です。鎌は昔からある小鎌または最近出回っている先端が三角形になったものを使います。取った草を入れるのはバケツではなく、植木鉢用の大きな受け皿。バケツの淵を越える高さまで草を持った手を持ち上げなくても良いので楽なのです。さらに受け皿の中に準備するものは、大振りのピンセットと携帯ラジオ。夏場の蚊が寄ってくる時期には、蚊取り線香もセットします。

これで準備OK！ いざ庭に出陣。ラジオから流れる音楽やニュースに耳を傾けながら、黙々と草を退治していきます。草の形状や大きさに合わせて、鎌を使ったり、直に親指と人差し指でつまんだり……さらに指先でもつまめないほど細かい草も見逃しはしません。ここでいよいよピンセットの登場です。1ミリか2ミリくらいしかない草も1本1本ピンセットの先でつまんで引き抜くのです。ここまでいくと『異常かも……』と思う反面、やけにスッキリした気分にもなるのです。

このように除草の様子を描写すると、きっと見違えるほど綺麗になった庭を想像される方もいらっしゃるかもしれませんが、世の中そんなに甘くはないのです。なにせ作業するのは休日で、しかも好天の日のみ。それも1日に2～3時間。到底全区域の除草はできず、続きは早くても1週間後になるのです。生き残った草は見事に成長を遂げ、せっかく黒い土が出たところには、またすぐに新しい草が顔を出しているのです。

まもなく待ちわびた春がやってきます。そして、風の冷たさが和らいでくる頃には、また私の除草作業も再開されることでしょう。



エッセー・コーナー

このページは、毎月、学校教職員のエッセーを掲載します。紫雲寺小学校に勤めているわたし達の素顔の一部を知っていただき、学校と保護者、地域の皆さまとの距離を近づけたいと考えました。「同感!」、「新発見!」など気軽に声をかけていただき、話が弾むことを期待しています。



2月の予定

※下校時刻（予定）を載せました。子どもたちの交通安全等で声を掛けていただくとありがたいです。

日	曜	予 定	下校（終了）時刻
1	土		
2	日		
3	月	全校朝会 フッ素 干拓太鼓練習	1~3年 15:05 4~6年 15:50
4	火	職員読み聞かせ	1~3年 15:05 4~6年 15:50
5	水	校外学習（3年）	1,2年 15:05 3~6年 15:50
6	木	ボランティア 読み聞かせ(2の1) 干拓太鼓練習	1年 14:45 2~6年 15:30
7	金	委員会活動 口座振替日	1~4年 15:05 5,6年 15:55
8	土		
9	日		
10	月	フッ素 干拓太鼓練習	1~3年 15:05 4~6年 15:50
11	火		
12	水	児童朝会	1,2年 15:05 3~6年 15:50
13	木	ボランティア 読み聞かせ(2の2) 干拓太鼓練習	1年 14:45 2~6年 15:30
14	金	新1年生保護者説明会 PTA 広報部会	全学年 15:05
15	土		
16	日		
17	月	フッ素 干拓太鼓練習	1~3年 15:05 4~6年 15:50
18	火		1~3年 15:05 4~6年 15:50
19	水	ALT(5,3,6年) 学校評議員会	1,2年 15:05 3~6年 15:50
20	木	ボランティア 読み聞かせ(3年) ファミプレ 干拓太鼓練習	1年 14:45 2~6年 15:30
21	金	委員会活動〈最終〉	1~4年 15:05 5,6年 15:55
22	土		
23	日		
24	月	フッ素	全学年 15:05
25	火		1~3年 15:05 4~6年 15:50
26	水	ALT(5,4,6年) PTA 三役会・専門部会	1,2年 15:05 3~6年 15:50
27	木	ボランティア 読み聞かせ(4年)	1年 14:45 2~6年 15:30
28	金	参観日 六送会 PTA 評議員会	全学年 15:55

読書月間
6年生ありがとう月間

3/20 3学期終業式 3/24 卒業式

※ 学級終会等で上記の時刻より多少遅れることがあります。

学校と家庭・地域をつなぐ

かぜやインフルエンザ予防

れんぎょう茶うがい

例年、かぜやインフルエンザ予防として、こまめな換気と手洗いやうがいの励行を呼びかけています。また、各教室に加湿器を置いて空気が乾燥し過ぎないようにしています。更に今年度は、1月14日から3月14日までの期間、連翹茶によるうがいを取り入れました。うがい用の連翹茶は、連翹茶研究会より提供していただいています。

連翹茶は、平成7年に旧紫雲寺町の有志の皆さんと北海道医大の薬学博士の西部三省名誉教授らによって共同開発、商品化されたものです。効能としては、連翹茶に含まれるフィリリン（リグナン配糖体）やアクテオシド、フォルシアシド（フェニルエタノイド配糖体）には、抗菌作用の他、肥満解消、血圧降下作用、美白作用などもあるようです。

かぜやインフルエンザ予防は、帰宅後や休み中の過ごし方、生活習慣（食事・休養・睡眠など）も大切になってきます。ご家庭でも、感染予防にご協力ください。

なお、連翹茶うがいの様子は、新発田市報（2月3日付）にも掲載される予定です。

（教頭 加藤 義孝）

